

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習6①							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	3年	1期	徳江 謙太		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	総合領域		座学	1	10		
科目概要							
鍼灸師として必要な疾患の知識を定着させ、鑑別ができる応用力を身につけるため、1、2年次に学んだ専門基礎・専門分野を中心として、教科を横断した学習を行う。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標	鍼灸師として適切な診断、治療を行う事が出来るようになるために、経絡経穴の知識の確認を行う。						
	<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 経穴の概要、流注、骨度法を指定された選択肢の中から選ぶ事が出来る。 2. 体幹部の経穴の確認を行い、指定された選択肢の中から選ぶ事が出来る。 3. 上肢の経穴の確認を行い、指定された選択肢の中から選ぶ事が出来る。					
履修に必要な予備知識や技能							
東洋医学概論 解剖学							
教科書・参考書							
教科書: 経絡経穴概論 参考書: 解剖学							
受講上の注意							
何のために学習をするかを常に考え、授業前の予習、授業後の復習を行い毎授業に参加する事。 疑問点などがある場合は必ずメモに落とし、そのままにせずその日のうちに理解できるよう努める事。 授業内にて理解出来なかった場合は、必ず担当教員へ質問する事。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	十四経脈総復習				教科書・筆記用具		
第2回	十四経脈について				教科書・筆記用具		
第3回	流注について				教科書・筆記用具		
第4回	要穴について				教科書・筆記用具		
第5回	骨度法・体表指標				教科書・筆記用具		
第6回	腰背部の経穴				教科書・筆記用具		
第7回	胸腹部の経穴				教科書・筆記用具		
第8回	陰経上肢の経穴				教科書・筆記用具		
第9回	陽経上肢の経穴				教科書・筆記用具		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
・九州の専門学校で8年、関東で4年、計12年経絡経穴の講義を担当。 ・臨床の現場でも、筋肉や経穴を用いた治療を4年行っている。							
メールアドレス							
tokue@nihonisen.ac.jp							